

THE KANSAI UNIVERSITY NEWS

第141号 関西大学通信

関西大学広報委員会 大阪府吹田市山手町3丁目

高齢化社会の街づくり

真の豊かさを求めて

荒木 兵一郎

今も、住みよい理想の街を求めて、高層を切り開く。なんととも機能的で合理的な街づくりがなされている。

住宅街は静かだ。花が咲き、蝶が舞っている。口笛も吹きたくなくなった。が、警笛が先に鳴った。自動車は小さな家の前面を塞いで駐車し、買い物帰りの親子が

にもスクールバスが活躍し、放課後も塾の車がつきつぎに参上する。立派な公園があるが、ここで遊べるどころか草草さへも喰えない状況となっている。

高度経済成長を支える勤労者向けの住宅を建てることができた。核家族の親子がなかに三〇〇を越える地

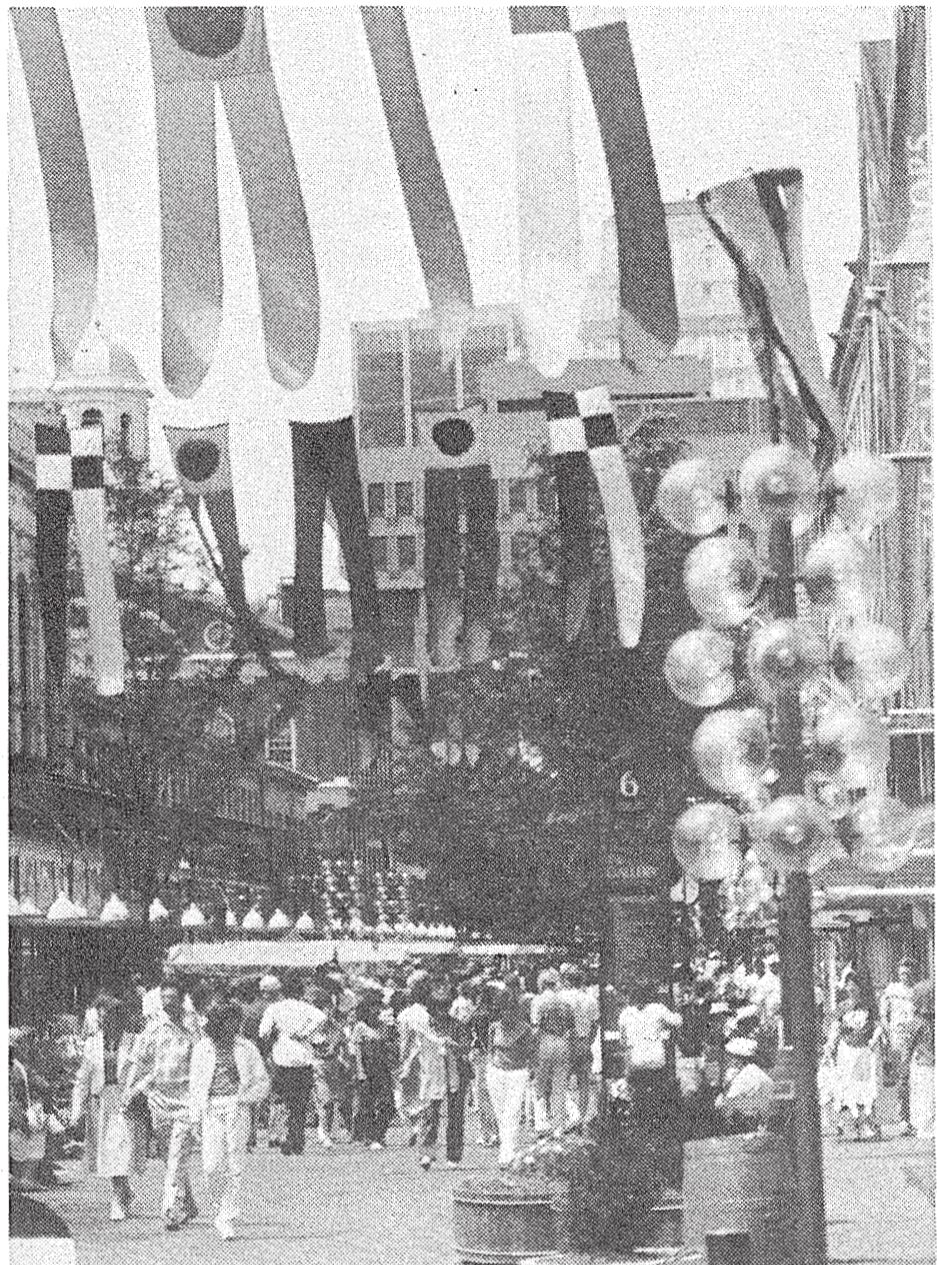
の家族も高齢家族となる。それも同世代ばかりが集まって住んでいたのに、ここでの高齢化率は倍速する。

戦後の住宅政策は、たまたま高齢家族となる。それも同世代ばかりが集まって住んでいたのに、ここでの高齢化率は倍速する。

接させて作っている。ある坪庭があり、そこに丹精をいれ一度に開発せずに、長

大学の研究室は、千尋万来である。原稿の締切に追われて仕事に没頭している折などに、突如、セルスマン氏の来訪を受けると思わず

ボストンの下町クインシーマーケットの賑わい(筆者撮影)



下町をつくらうよ 分離方式より混在が必要

的な和風を捨てて洋風化が進んでいる。とくに、狭いダイニングキッチンには調理効率が悪く、結局は不備なこともできない。こんな追いつけ追いつかれないうちから、高齢者でも住めない。したがって、ニュータウンには高齢者は二、三代の人たちが入居できるよ

昭和60年度入学願書を発売

昭和六十年度の入学試験要項(願書)・六五〇円(送料共一、〇〇〇円)を発売中。入学試験の概要は次のとおり

昭和六十年度の入学試験要項(願書)・六五〇円(送料共一、〇〇〇円)を発売中。入学試験の概要は次のとおり

(H.F.)

# キタノ情報

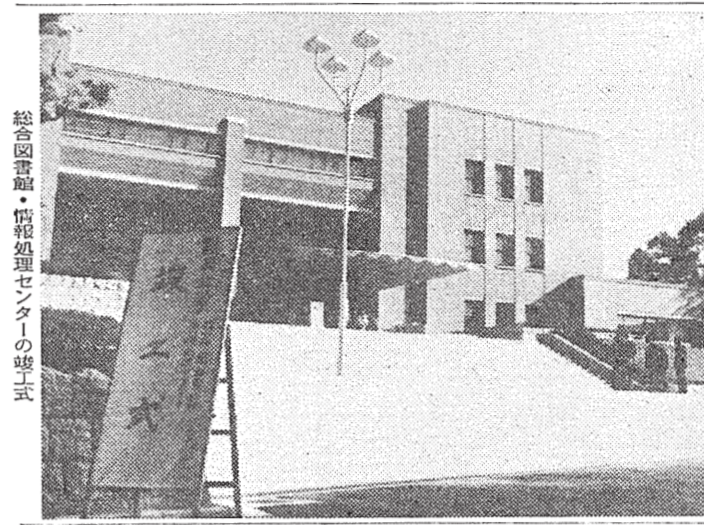
## 人事異動

十一月十一日付、新編職務表次のとおり発表された。  
 文学部 教授 齋藤 富雄  
 文学部 助教授 齋藤 富雄

## 本学吹奏楽部が金賞を受賞

第32回全国吹奏楽コンクール

第三十二回全国吹奏楽コンクール(全日本吹奏楽連盟)前日新聞社共催)が去月二十日、名古屋市民会館で行われた。  
 本学吹奏楽部は、前年度同様、金賞を受賞し、優秀賞も受賞した。また、指揮者として活躍した吹奏楽部員の名前も発表された。



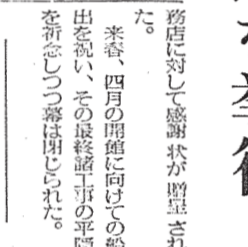
本学吹奏楽部、金賞を受賞し、優秀賞も受賞した。

指揮者として活躍した吹奏楽部員の名前も発表された。

## 総合図書館情報処理センター

### 厳粛に竣工式を挙行

総合図書館情報処理センターの竣工式が、十一月二十日午後二時、厳粛に行われた。式には、関係者約五十名が出席した。式後、関係者は新館を見学した。新館は、従来の総合図書館に比べて、面積が約二倍に拡大された。また、最新の設備が導入され、情報処理の面で大きな飛躍を遂げた。式後、関係者は新館を見学した。



総合図書館情報処理センターの新館。

## 来学抄信

日本文化の海外に広がる。来学抄信は、来学抄信の発行を通じて、日本文化の海外に広がる。来学抄信の発行を通じて、日本文化の海外に広がる。来学抄信の発行を通じて、日本文化の海外に広がる。

## 学生諸団の行事

【第一部】十一月二十日(日)第一回全学学生連帯大会。会場は本学体育館。【第二部】十一月二十一日(月)第二回全学学生連帯大会。会場は本学体育館。【第三部】十一月二十三日(水)第三回全学学生連帯大会。会場は本学体育館。【第四部】十一月二十五日(金)第四回全学学生連帯大会。会場は本学体育館。

## 1千人が参加

第22回商経合同学生内ゼミナール。十一月十九日(金)午後二時、本学大ホールで開催された。参加者は約1,000名に達した。

## 白馬エキスキーを楽しもう

年末年始の白馬エキススキーを楽しもう。スキーシーズンは、白馬エキススキーを楽しむ。スキーシーズンは、白馬エキススキーを楽しむ。スキーシーズンは、白馬エキススキーを楽しむ。

## 映画「命と宝」上映会と丸木俊氏講演会を開催

映画「命と宝」上映会と丸木俊氏講演会を開催。十一月二十三日(水)午後二時、本学大ホールで映画「命と宝」の上映会と丸木俊氏の講演会を開催した。

## 法学部学術講演会

法学部学術講演会。十一月二十日(日)午後二時、本学大ホールで開催された。講演者は、本学法学部教授の丸木俊氏。講演内容は、法と社会の関係について。

## 日本学生経済ゼミ

日本学生経済ゼミ。十一月二十日(日)午後二時、本学大ホールで開催された。参加者は、本学経済学部の学生と教員。

## 実態調査に協力

実態調査に協力。本学では、学生生活の実態を調査するために、アンケート調査を実施している。多くの学生が協力をし、調査に協力した。

## 日本学生経済ゼミ

日本学生経済ゼミ。十一月二十日(日)午後二時、本学大ホールで開催された。参加者は、本学経済学部の学生と教員。

## 関西ブロック大会

関西ブロック大会。十一月二十日(日)午後二時、本学大ホールで開催された。参加者は、関西圏の各校から集まった学生と教員。

## 教師としての大学生活を顧みる



荒木康雄

教師としての大学生活を顧みる。教師としての大学生活を顧みる。教師としての大学生活を顧みる。教師としての大学生活を顧みる。

# 「部落解放論」後期特別講座

## 総合コース

「部落解放論」後期特別講座。本講座は、部落問題に関する最新の研究成果を学ぶ機会を提供する。講師は、本学社会学部教授の増田勝彦氏。講座内容は、部落問題の現状と今後の課題について。

## 私の形成期に期待するもの



増田勝彦

私の形成期に期待するもの。私の形成期に期待するもの。私の形成期に期待するもの。私の形成期に期待するもの。

## 部落出身学生の自覚と任務

総合コース「部落解放論」担当教授 谷口修太郎

部落出身学生の自覚と任務。部落出身学生の自覚と任務。部落出身学生の自覚と任務。部落出身学生の自覚と任務。

部落出身学生の自覚と任務。部落出身学生の自覚と任務。部落出身学生の自覚と任務。部落出身学生の自覚と任務。

昭和59年度総合コース「部落解放論」後期特別講座  
 1. 日時 第一部 12月6日(木) 13時～16時  
 第二部 12月6日(木) 18時～21時  
 2. 場所 第一部 千里山第2学舎 C304教室  
 第二部 天六学舎 312教室  
 3. テーマ 「部落出身学生の自覚と任務」  
 ◎お申し込み  
 総合コース「部落解放論」テーマ代表者 田中 欣和  
 文学部教授  
 ◎講師  
 (1) 教師として大学生生活を顧みる 全国同和教育研究協議会事務局 荒木 康雄  
 (2) 私の形成期と学生に期待するもの 大東市社会同和教育指導員 増田 勝彦  
 (3) 部落出身学生の自覚と任務 総合コース「部落解放論」担当教授 谷口修太郎  
 部落問題研究室研究員



講座の会場。

## 創立100周年記念事業関係事項について

創立100周年記念事業関係事項について。本学は、創立100周年を記念して、様々な記念事業を実施している。その内容は、本学創立100周年記念事業関係事項について。

## 学術奨励金

学術奨励金。本学では、優秀な学生を奨励するために、学術奨励金を支給している。申請期間は、十一月二十日(日)まで。

## 学術奨励金

学術奨励金。本学では、優秀な学生を奨励するために、学術奨励金を支給している。申請期間は、十一月二十日(日)まで。

# 盛大に学園祭

# PERFORMANCE '84

### むだな抵抗やめるもんか



免田案氏を招き、現代の司法制度のあり方に迫った学術講演「検証/免田事件」



個人訴訟をテーマに行われた法律相談所の模範裁判

# 若人の熱気うずまく



道徳歌が千里の山にこだまし、興奮のつづきに



学園祭の風物詩「模擬店」は今年も大にざわい



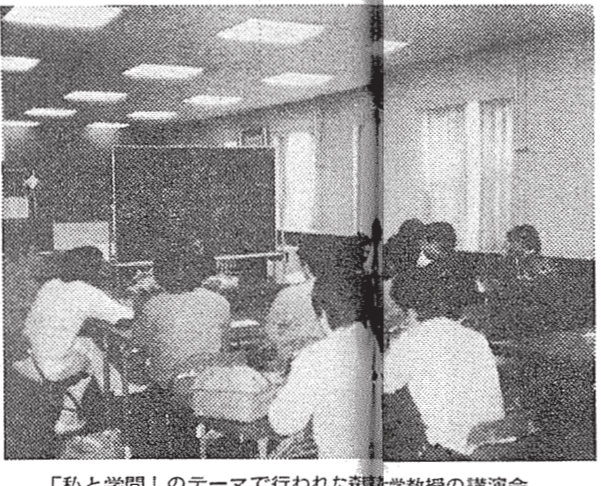
後夜祭でクライマックスに



なごやかなムードの留学会



経済合同企画による教員との交流会



「私と学問」のテーマで行われた新任教員の講演会

## 第二部学園祭も盛大に

### 「幾千万の夜を越えて」をテーマに

第三十四回関西学生連合会主催の「第二部学園祭」が、11月18日(土)から19日(日)まで、近畿大学(以下「関大」)で盛大に開催された。この学園祭は、毎年「第二部」として開催されており、今年も「幾千万の夜を越えて」というテーマのもと、学生たちが自主的に企画・実行した様々なイベントが繰り広げられた。

この学園祭は、毎年「第二部」として開催されており、今年も「幾千万の夜を越えて」というテーマのもと、学生たちが自主的に企画・実行した様々なイベントが繰り広げられた。



天六祭各物のもちつき大会

十月十八日(土)に開催された「第二部学園祭」は、朝から夕方まで、キャンパス内外で様々なイベントが行われた。中でも、学生たちが自主的に企画・実行した「天六祭各物のもちつき大会」は、大いに盛り上がった。

この大会は、学生たちが自主的に企画・実行したもので、大いに盛り上がった。



熱戦のソフトボール大会

この大会は、学生たちが自主的に企画・実行したもので、大いに盛り上がった。

この大会は、学生たちが自主的に企画・実行したもので、大いに盛り上がった。

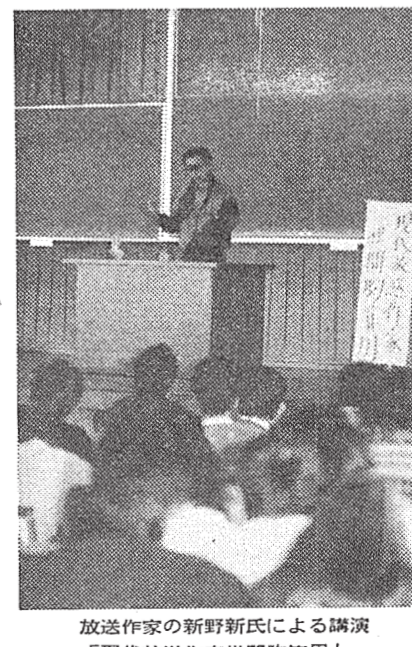
## 大学院祭開かれる

第三十四回関西学生連合会主催の「第二部学園祭」は、朝から夕方まで、キャンパス内外で様々なイベントが行われた。中でも、学生たちが自主的に企画・実行した「天六祭各物のもちつき大会」は、大いに盛り上がった。

この大会は、学生たちが自主的に企画・実行したもので、大いに盛り上がった。



まいどおなじみの千里寄席



放送作家の新野新氏による講演「現代放送作家世間踏査」

雨宮 俊彦

雨宮俊彦の運動である。自らの文化の向うを動かす存在の運動。...

鶴岡 康東

この雑誌を創るに当たって、日本経済を動かす存在の運動。...

江澤 義典

江澤義典の運動である。自らの文化の向うを動かす存在の運動。...



多様な文化の存在。この文化の存在の運動。...

山田和彦の運動である。自らの文化の向うを動かす存在の運動。...

奥村 透の運動である。自らの文化の向うを動かす存在の運動。...

杉野 幹夫の運動である。自らの文化の向うを動かす存在の運動。...

杉野 幹夫の運動である。自らの文化の向うを動かす存在の運動。...

杉野 幹夫の運動である。自らの文化の向うを動かす存在の運動。...

竹下 賢

竹下賢の運動である。自らの文化の向うを動かす存在の運動。...

肥田 晴三

肥田晴三の運動である。自らの文化の向うを動かす存在の運動。...

田中 茂和

田中茂和の運動である。自らの文化の向うを動かす存在の運動。...

高川 三郎

高川三郎の運動である。自らの文化の向うを動かす存在の運動。...

森岡 孝二

森岡孝二の運動である。自らの文化の向うを動かす存在の運動。...

若田 恭二

若田恭二の運動である。自らの文化の向うを動かす存在の運動。...

「私大白書」雑感

作成に参加して

岩見 和彦

「私大白書」の運動である。自らの文化の向うを動かす存在の運動。...

岩見和彦の運動である。自らの文化の向うを動かす存在の運動。...

岩見和彦の運動である。自らの文化の向うを動かす存在の運動。...

岩見和彦の運動である。自らの文化の向うを動かす存在の運動。...

岩見和彦の運動である。自らの文化の向うを動かす存在の運動。...



1984年読書案内の運動である。自らの文化の向うを動かす存在の運動。...

1984年読書案内の運動である。自らの文化の向うを動かす存在の運動。...

1984年読書案内の運動である。自らの文化の向うを動かす存在の運動。...

1984年読書案内の運動である。自らの文化の向うを動かす存在の運動。...

1984年読書案内の運動である。自らの文化の向うを動かす存在の運動。...

1984年読書案内の運動である。自らの文化の向うを動かす存在の運動。...

1984年読書案内の運動である。自らの文化の向うを動かす存在の運動。...

わが国の憲法、さらにはわが国そのものというものが「国際人権規約」には、基本的な人権の尊重と、その最大限の保障がうたわれている。この認識に基づいて、被差別部落解放のための行政が「国の責務」、「国民的課題」であるとして国家的に行われている。一方、国際連合においては、人種差別撤廃条約(百三十四号)と「国際人権規約」(百四号)と「女性差別撤廃条約」(一九八〇年)、「日本国憲法」が採択され、あらゆる形態の差別撤廃を参加国に要請している。

言うまでもなく本学においても、これら現実の社会問題を直視し、教育・研究を通じて積極的に対処し取り組んでいる。しかしながら、いまなお基本的人権が尊重確保されているとは必ずしも言い難いのが現状である。

最近の国内外における社会の現状および本学の現状に於いて、さらには、一九四八年十二月十日に採択された「世界人権宣言」を記念する「世界人権デー」を迎えるに当たり、本学全構成員に人権問題について今一度考える契機としていたたぐために、植松健郎人権問題委員長に示唆深い一文を寄せていただいた。

(教務部長代理・矢野章成)

十二月十日は「世界人権デー」である。毎年各地で催される人権週間を前に、すでにわれわれに馴染み深いものになっている。人権という言葉は、その啓蒙が意識されていなくても、人権についての認識は深まっている。あまたかもわれわれが生きていく中で、一刻たりとも欠かすことのできない空気、われわれは平等意識を持って生きていくべきである。空気が汚染され、呼吸困難を感じてはじめて清浄な空気を求め、空気の存在を有難く思うのである。基本的な人権も、それが尊重され、あるいは侵害されていることを認識してはじめて人権尊重の啓蒙をわれわれは知る。しかし、人権侵害を認識せず、あるいは人権侵害の行為を無意識的に見過ごし、いかに、人権侵害の行為に意識的、無意識的に関与するようになっているか、いつの日か、再び人権尊重の理念を回復させることが困難な社会状況になってしまっている。自浄作用が不能に至るまで汚染された自然環境は、再び甦ることはできないのと同じで、人権尊重の理念、人権尊重の精神、理念、回復も同様である。

人権尊重の精神が、日常生活の中で完全に定着し、確立していかためには、われわれ自身が、人

# 人権を守りぬか

## 人権問題委員長 植松健郎

権を意識し、自らの人権を守り、基本的人権尊重に努力しなければならぬ。日本国憲法が、あるいは人種差別撤廃条約が、あるいは国際人権規約が基本的人権を保障しているものではない。われわれ自身が、人権の維持、確立のために自らを守り、人権侵害の行為を見逃さぬ努力を目的に続けていなければならない。一年に一度の人権週間でも事足りるわけではなく、少なくとも人権問題意識を日々持つことが必要である。

世界人権デーは、一九四八年十二月十日、第三回国連総会において世界人権宣言が採択された日である。昨年は世界人権宣言三十五周年に当たり、各国各地で取組みがなされた。

いま世界は、一方で果てしない軍備拡張を、一方で反核、反環境破壊の大きなねりを示している。われわれは、人類生存の道を

権を尊重し、自らの人権を守り、基本的人権尊重に努力しなければならぬ。日本国憲法が、あるいは人種差別撤廃条約が、あるいは国際人権規約が基本的人権を保障しているものではない。われわれ自身が、人権の維持、確立のために自らを守り、人権侵害の行為を見逃さぬ努力を目的に続けていなければならない。一年に一度の人権週間でも事足りるわけではなく、少なくとも人権問題意識を日々持つことが必要である。

世界人権デーは、一九四八年十二月十日、第三回国連総会において世界人権宣言が採択された日である。昨年は世界人権宣言三十五周年に当たり、各国各地で取組みがなされた。

いま世界は、一方で果てしない軍備拡張を、一方で反核、反環境破壊の大きなねりを示している。われわれは、人類生存の道を

共相国のアバルトヘイト政策は、世界の国々の批判を受けることである。

一九五九年から六十年にかけて、ナチズムの象徴であるハーゲンクローイツを書きたたり、反ユダヤ主義を煽動する事件が頻発した。国連人権委員会が、このような行動を非難し、それに対する効果的措置を講ずるべきことを勧告して、一九六五年、第二十四回国連総会「あらゆる形態の人種差別撤廃条約」が採択された。人種的、あるいは民族的優越主義に基づいたナチズムやファシズムに対する闘いが基本姿勢であった国連であるならば、当然の帰結であるが、六四年に提案され、翌年に採択された迅速な対応は、提案から採択まで十六年を要した国際人権規約を思いつくか、植松健郎が、恐ろしく欠乏からの自由を享受するために、市民的、政治的権利と共に経済的、社会的、文化的権利を享受できる条件が、すべての人々に差別なく保障されなければならない。法的拘束力のない世界人権宣言の精神が、実際に十全に生かされるべく、実際の措置を求めて採択された人種差別撤廃条約は、当事国に差別撤廃の義務を課し、政治的、経済的、社会的、教育的及び文化的分野における人権のあらゆる差別行為、慣行を非難し、人種的優越主義に基づく差別行為、差別を助長する慣行を禁止し、それらの行為を法によって罰せられる犯罪として禁止すると共に、これらを行おうとする者に対して、政府が特に教育、文化、情報の分野における迅速かつ効果的措置を講ずることを義務づけている。

今日の国際社会は基本的人権の確立に向けて断続的な努力が積み重ねられて、国際人権規約、国際人種差別撤廃条約、国際人権規約の理念を十分に認識し、解放教育に新たな展望を切りひらいていかねばならない。

(文学部教授)

われはいま、われわれ自身に、人権尊重の認識が十分に確立されているか否か問ひ返す必要がある。いいえ、われわれの内なる差別意識が完全に克服されているか否かである。

最近、第二部において数度わたる差別文書が出た。在日朝鮮人・韓国人に対する人権侵害もまた、いかに許し難い差別文書である。これはまた、解放教育を教養の重要な理念の一つとして位置づけている本学に敵対する悪質極まりない行為である。人種差別撤廃条約が禁止している犯罪行為に該当する重大な行為といわねばならない。差別文書の書き手の匿名をばたかすに、われわれはこのような事件が発生する原因として、本学の解放教育の徹底に反対する批判も真剣に受け止めなければならない。

われわれが人権問題委員長として、人種差別撤廃条約、国際人権規約の理念を十分に認識し、解放教育に新たな展望を切りひらいていかねばならない。

(文学部教授)

### 世界の大学



**南太平洋大学**

歴史の古き名語、あるいは規模の大ききをもつて「世界の大学」に列しようとするのなら、南太平洋大学は相応しくないかも知れない。しかし、多様な世界の大学という意味では、南太平洋大学によって設立されたマルチ・エニック、マルチ・カルチャーを旨とする国際大学であるという点で、南太平洋大学はユニークである。本校はフィジーの首都スバにあり、海に臨む緑の丘陵地に広がるキャンパスでは、メラネシア人・ポリネシア人やインド系・中国系など、国際色豊かな学生達が勉学に励んでいる。

社会経済開発学部、農学部(西サモアに分校あり)など四学部、南太平洋研究所ほか五研究所が設置されており、写真の図書館は南太平洋関係文献の蒐集でよく知られている。

(文学部教授・橋本征治)

これによって『マンズフィールド・パーク』の注釈書三巻がめでたく完了した。

本書の注釈の方針は、当然ながら既刊の第一・二巻と同様、徹底したテキストの語彙の追求と解釈である。それは含蓄的な表現に対しても成されるべきでない。そのため編者たちは議論をたたくし、典拠を求めて止まない。第三巻編集の仕事から研究会に参加した英米人から、しかも文法論を専攻するギブス助教授の説と見えども容易に認められたわけではない。語彙の選択について、必要場面を掲げ、また表現や文体上の問題については体験法その他の話法の研究を志す者にとって本書は知的刺激に満ちている。

語学関係のすぐれた論文が二編巻頭を飾っているほか、さし絵が五幅詳細な解説とともに収められており、巻末には索引が完備している。本注釈書三巻を真に学問的な著作たらしめている。

(安川 昌)

また原文の平易さと共に、訳者による適切な補筆、簡潔な注が読者の理解を容易にしている。

(徳岡秀雄)

### 新刊紹介

F・ニエンスキイ著  
文学部教授 工藤精一郎訳  
『犯罪の大地』  
——ソ連捜査検事の——  
手記——  
(中央公論社・一四五〇円)

これは一人の極めて良心的なソ連捜査検事が自分の仕事の過程で必ずつきまわった巨大な壁に絶望、アメリカに命じて祖国を告発した事である。著者の手がけた事件はいくらもあるが、ここでは物質の流通にまつわる関取引である。愛をたんと多く行政組織、党の中枢に向かっていく。この段階になると必ず妨害や干渉が入って事件はもみ消されてしまう。その時著者に投げつけられる言葉は「区々たる犯罪の解決と泥の威嚇が傷つけられる」というものである。これは、この事件が「区々たる犯罪」であった。もしも消しはされたら、その事件は「区々たる犯罪」である。もしも消しはされたら、その事件は「区々たる犯罪」である。

### 『J.M. ショーンズ』

社会学部教授 野村 昭訳  
『人種関係の心理学』  
(誠信書房・二八〇〇円)

社会学において、ミクロなアプローチもはややられる昨今、そして「全く不適切であることがわかっていよう」ということを警告するよりも、基本的なことに「人種関係の心理学」を学ぶべきである。この書は、その点で、人種関係の心理学に貢献している。この書は、その点で、人種関係の心理学に貢献している。

### 『MANFIELD PARK』

(VOL. III)  
(四八〇〇円)

文学部教授 吉田安雄監修  
文学部教授 大西昭男  
同 坂本 武  
同 助教 奥村 透  
同 A.S. キンズ  
同 編者  
JANE AUSTEN: MANSFIELD PARK (VOL. III)  
(四八〇〇円)

文学部教授 吉田安雄監修  
文学部教授 大西昭男  
同 坂本 武  
同 助教 奥村 透  
同 A.S. キンズ  
同 編者  
JANE AUSTEN: MANSFIELD PARK (VOL. III)  
(四八〇〇円)

異帯湯水である。しかし、結局自然の恵みによる雨がこの湯をいよして呉れるのだと認識している。その意味でこの湯は救いがある。耳で読む本などという怪しげな情報源が書店に登場し、それが結構売れているというし、車中では、せめてもの旅行本を手にするのは、多くは動機人であったりする。

一冊の本を、あきらまじい感性で手にする。そのとき、ゆとりの中にあるのが、大学生ではないか。知識への飽きなき湯水こそが、きみに求められているものだ。今年の一冊の、意図するところを汲み取って欲しい。

本年最終号のこの通信。台風ゼロのたらいの意外な影響について考えながら、新しい年に思いを馳せる。

(浅野・福穂)



編集後記